

教育委員会事務局 令和3年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

令和2（2020）年1月以降の新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、緊急事態宣言の発令や、それに伴う学校の臨時休業等といった社会経済情勢の大きな変化をもたらしました。この未曾有の災禍において、感染症対策と学びの保障の両立が求められていることから、教育委員会は子どもたち一人ひとりが自律していくことができる教育の推進と、新たな生涯学習環境の構築に誠心誠意取り組んでまいります。

学校教育においては、全ての子どもたちの学びの保障という観点のもとより、「令和の日本型学校教育」の姿を見据え、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化され創造性をはぐくむ教育ICT環境を実現する必要があります。

生涯学習においては、コロナ禍における臨時休館等の緊急時においても、生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境を提供するため、生涯学習関連施設が持つ学習資源をパッケージ化しウェブサイトで配信する「e公民館」や「学びの玉手箱」などの新たな取組を推進する必要があります。

一方で、子どもたちの成長を支え、よりよい地域社会の構築に寄与していくためには、十分な感染症対策を講じつつ、コロナ禍においても学校・家庭・地域・行政が連携・協働するための組織的・継続的な仕組みをより一層充実させるとともに、潜在している地域の教育力を学校に呼び込み、学校の教育力の一層の向上を図っていくことが必要です。

また、こうした取組と併せて、学校施設や生涯学習関連施設の長寿命化及びバリアフリー化を計画的に進め、安全・安心な学習環境を整備していく必要があります。



人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」を推進し、
日本一の教育都市の実現を目指します。

(1) 技術革新による社会・経済状況の変化

技術革新によりあらゆるものがインターネットにつながった結果、人工知能（A I）によるビッグデータの活用等により、生産性の向上が図られる一方、従来人手で行われていた仕事の多くがA Iやロボット等によって代替され始めています。このような新しい時代において、生きて働く知識・技能を習得し、人間ならではの感性に基づいた思考力や判断力、表現力を身に付け、自身の学びを人生や社会に生かそうとする意欲や力、人間性を涵養していく必要があります。

さらに、コロナ禍において「G I G Aスクール構想」の実現が加速したことを受け、I C Tを活用したアクティブ・ラーニングの推進や、I C Tを活用した自律的な個別最適化した学びの融合など「I C Tを活用した学びの改革」を進める必要があります。また、感染症対策により人と人の接触が制限される今だからこそ、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむため、自然体験活動のより一層の推進が求められています。



I C Tを活用した
アクティブ・ラーニング
(タブレット型コンピュータ)



館岩少年自然の家（福島県南会津町）
での自然体験活動（源流探検）

さいたま市
G I G Aスクール
構想推進本部会発足式



(2) グローバル化・多様化の進展とSDG sの推進

グローバル化・多様化が進展する、複雑で予測困難な社会において、子どもたちが自らが持つ可能性を発見し、人生を主体的に切り拓いていくために必要な力を育成することが重要です。そのために、多様な人々との関わりの中で、共感力や人間ならではの感性、創造性等をはぐくむことにより、コミュニケーションを通じて人間関係を築く力、豊かな情操や規範意識、ものごとを最後までやり抜く力、社会的・職業的自立に向けた能力・態度等を育成します。

また、地球規模での人口増加や経済規模の拡大の中で、人間活動に伴う地球環境への負荷はますます増大していることから、持続可能な社会の創り手を育成するため、SDG sの実現を目指した教育を推進する必要があります。



学校教育におけるSDG sの取組の推進 ～PRシート～



「地元シェフ」による
地場産物を活用した
学校給食

(3) 人生100年時代の到来

「人生100年時代」の到来を迎えている現在、全ての人が生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進に資する生涯学習を推進し、「学び」と「活動」の循環を形成することが求められています。

そのためには、全ての人が生きがいを持ち、生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境と、人生を豊かに生きるために、学んだことを生かして活躍できる環境を整えていくことが重要です。そのため、コロナ禍においても、感染症対策を講じつつ生涯学習関連施設で実施する対面の講座と、学習資源をパッケージ化しウェブサイトで配信する「e公民館」や「学びの玉手箱」などのデジタルコンテンツとのハイブリッド型の生涯学習環境を整備してまいります。



国指定史跡「見沼通船堀」の「閘門開閉実演」



さいたま市民大学事業の推進

(4) 人口減少・高齢化の進行と家族形態・地域社会の変化

急速な少子高齢化や都市化が進み、人間関係の希薄化による地域コミュニティの構造が大きな変化を迎えようとしている中、地域が学校を育て、学校が地域を育てる、学校を核とした持続可能なスクール・コミュニティを構築することが必要です。

そのために、学校と地域が連携・協働して未来を担う子どもたちをはぐくむコミュニティ・スクールを推進します。また、地域の多様な教育資源を活用し、地域コミュニティの活性化と、地域発展の担い手となる人材を育成します。



学校運営協議会での熟議

～コミュニティ・スクールの推進～



公民館での子育てサロン はあとくらぶ

(5) 持続可能な社会に向けた教育環境の整備

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた質の高い教育施策を推進するためには、持続可能な学校の指導体制を構築するとともに、教育水準の更なる向上が求められています。

特に、時代のニーズや多様化する教育課題に対応するため、管理職や教員の資質向上、いわゆる人材育成が、これまで以上に求められています。そこで、管理職のマネジメント力や、教員のコミュニケーション力等を向上させるための研修を進めていく必要があります。あわせて、全ての学校職員が健康で生き生きとやりがいを持ち能力を最大限発揮して働くことのできる持続可能な職場環境を整備し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保するとともに、教育の質を向上するため、学校における働き方改革を推進する必要があります。

また、子ども自身に危険を回避する能力をはぐくむ安全教育を推進するとともに、老朽化している学校施設に対して計画的、総合的な対策を行い、施設の長寿命化を図ることで、安全・安心で質の高い教育環境を整備し、学校安全体制を推進していくことが重要です。



将来のさいたま市で活躍する教員の養成を目指す「教員養成あすなるプロジェクト」の実施



学校施設リフレッシュ推進事業
(大戸小学校)



教員のコミュニケーション力等を向上させるための研修

2. 基本方針・区分別主要事業

第2期さいたま市教育振興基本計画で掲げた「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」の基本理念のもと、子どもたち一人ひとりが自律していくことができる教育の推進と、生涯学習環境の整備に取り組んでいきます。

(1) 技術革新による社会・経済状況の変化

～12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成～

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
1	拡大 総振	児童生徒用コンピュータ整備事業 〔教育研究所〕	654,367 (654,367)	225,845 (225,845)	「GIGAスクール構想」により整備した児童生徒1人1台端末の効果を高めるため、適切な維持管理を行うとともに、新たに全ての市立中学校において大型提示装置を導入	553
2	拡大 総振	アクティブ・ラーニングの推進 〔指導1課〕	258,666 (258,666)	75,960 (75,960)	学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付けられるよう、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善」を図り、「真の学力」を育成するとともに、本市の特定の課題及び全国的な教育課題等に関して、研究を委嘱し、委嘱校の教育力を向上	545
3	拡大 総振	さいたまSTEAMS教育の推進 〔指導1課〕	2,467 (2,467)	810 (810)	科学・技術分野の進展をリードできる力や未来社会において自己実現できる力を育成するため、STEM分野を幹とした教科横断的なプロジェクト学習を実施	545

(2) グローバル化・多様化の進展とSDGsの推進

～グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成～

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
4	拡大 総振	グローバル・スタディの推進 〔指導1課〕	669,356 (552,816)	591,740 (487,119)	グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒を育成するため、「グローバル・スタディ」を実施	547
5	拡大 総振	グローバル人材を育成する中等教育学校の整備 〔高校教育課〕	2,805,086 (917,006)	284,445 (284,445)	世界へ飛躍するグローバル人材を育成するため、大宮国際中等教育学校の校舎整備及び国際バカロレア認定に向けた手続きを実施	552

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
6	拡大 総振	主権者教育の推進 〔指導1課〕	300 (300)	170 (170)	主権者として持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識を涵養し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度をはぐくむための教育を推進	545
7	拡大 総振	SDGsの実現を目指した教育の推進 〔指導1課〕	546 (546)	270 (270)	現代社会の課題を自分事として捉え、他者と協働し、持続可能な社会につながる新たな価値観や行動を生み出す力を育成するための教育を推進	545
8	総振	教育相談推進事業 〔総合教育相談室〕	598,178 (468,514)	538,773 (417,769)	すべての市立学校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置・派遣するとともに、電話やSNSを活用した相談窓口を設置	551
9	拡大 総振	いじめ防止等対策推進事業 〔指導2課〕	14,238 (12,447)	13,057 (10,816)	いじめや問題行動等に適切・迅速に対応するため、「さいたま市スクールロイヤー等専門家チーム」等を活用して学校を支援	550
10	総振	学校における食育の推進 〔健康教育課〕	5,146 (5,146)	5,723 (5,723)	学校給食における県内地場産物の活用を推進するとともに、地元シェフによる学校給食や学校教育ファームを実施	580
11	拡大 総振	スポーツを科学する生徒の育成 〔高校教育課〕	9,969 (9,969)	6,600 (6,600)	ITを活用した「スマート部活動」を通して、さいたまSTEAMS教育を推進するため、市立高等学校・中学校で実証実験を、小学校は教科横断的なプロジェクト学習の研究を実施	552

(3) 人生100年時代の到来

～人生100年時代を輝き続ける力の育成～

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
12	総振	公民館施設リフレッシュの推進 〔生涯学習総合センター〕	576,933 (16,958)	625,898 (31,092)	既存施設を長期にわたって有効に活用するため、公民館施設リフレッシュ計画を基に、老朽化対策を進めるとともに、バリアフリー化や省エネルギー化を図る施設改修を実施	570
13	拡大	公民館エレベーター設置事業 〔生涯学習総合センター〕	153,525 (19,825)	27,013 (20,313)	公民館のバリアフリー化を推進するため、エレベーター等の設置に向けた工事・設計等を実施	570

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

(4) 人口減少・高齢化の進行と家族形態・地域社会の変化

～スクール・コミュニティによる連携・協働の充実～

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
14	拡大 総振	コミュニティ・スクールの推進 〔生涯学習振興課〕	4,307 (4,307)	2,702 (2,702)	学校を核とした地域づくりを推進するため、市立学校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)実施校を拡大	567
15	総振	チャレンジスクールの充実 〔生涯学習振興課〕	137,302 (97,344)	142,582 (101,804)	土曜日や放課後等に学校の教室等を活用し、地域住民、団体等の参画を得て、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を実施	567

(5) 持続可能な社会に向けた教育環境の整備

～「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備～

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
16	新規	就学援助オンライン学習通信費の支給 〔学事課〕	65,772 (65,772)	0 (0)	経済的理由で就学困難な就学援助世帯に対して、家庭でのオンライン学習に係る通信費の支援を新たに実施	556
17	拡大	学校保健事業 〔健康教育課〕	89,911 (65,381)	62,836 (62,836)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、学校で必要な感染症対策用品等を購入	579
18	拡大 総振	教職員研修事業 〔教育研究所〕	8,962 (8,962)	7,958 (7,958)	時代のニーズや多様化する教育課題に対応できる教員を育成するために、主体性や同僚性をはぐくむ研修、OJTを意識した研修、外部人材を活用した研修等を実施	552
19	拡大 総振	学校施設リフレッシュ推進事業 〔学校施設課〕	2,889,653 (383,317)	1,617,120 (262,803)	学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、学校施設の計画的な改修・改築を実施	557 562 563
20	総振	学校トイレ洋式化推進事業 〔学校施設課〕	102,353 (9,753)	1,403,132 (86,406)	児童生徒の健康面や良好な学習環境維持のため、市立小・中学校の洋式トイレの整備を実施	557 562
21	新規	武蔵浦和駅周辺地区新設校建設事業 〔学校施設課〕	23,760 (23,760)	0 (0)	学校規模の適正化とともに、教育の質の向上を図るため、武蔵浦和駅周辺地区に義務教育学校を整備するための基本計画の策定を実施	558

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

*（）内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
22	拡大 総振	新設大和田地区小学校 整備事業 〔学校施設課〕	87,722 (87,722)	5,000 (5,000)	大和田特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、新設校の基本設計を実施	558
23	新規	中学校体育館空調整備 事業 〔学校施設課〕	18,470 (970)	0 (0)	災害時の避難所機能の強化を図るとともに、良好な教育環境を確保するため、市立中学校の体育館への空調機設置に向けて、6校分の実施設計を実施	563
24	新規	小中学校における水泳 授業の民間委託化事業 〔学校施設課〕	4,199 (4,199)	0 (0)	学校プールの機能性・合理性の向上を図るとともに、質の高い教育を提供するため、水泳授業の民間委託化をモデル的に実施	555 561

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容	コスト削減額
教育財務課	消耗品費の見直し	〇A関連消耗品の購入量を見直し、予算額を縮小する。	△ 304
教育財務課	印刷製本費の見直し	事務局で使用する印刷製本発注量を見直し、予算額を縮小する。	△ 167
教育政策室	報償費の見直し	教育行政点検評価委員会の過去の実績や内容を踏まえ、開催回数を見直し、予算額を縮小する。	△ 32
学事課	消耗品費の見直し	〇A関連消耗品の購入量を見直し、予算額を縮小する。	△ 56
学事課	印刷製本費の見直し	就学事務関係様式の印刷枚数を見直し、予算額を縮小する。	△ 52
指導1課	消耗品費の見直し	よい授業アンケートを電子化することで、調査用マークシートの購入を見直し、予算額を縮小する。	△ 6,930
指導1課	印刷製本費の見直し	子ども100選リーフレット等を電子化することで、予算額を縮小する。	△ 1,751
特別支援教育室	使用料の見直し	免許法認定講習について会場を見直し、予算額を縮小する。	△ 86
生涯学習振興課	印刷製本費の見直し	「自分発見！」チャレンジupさいたまに係る内容を、別の印刷物に一本化して掲載することで、印刷製本費の予算計上を廃止する。	△ 580
文化財保護課	使用料の見直し	実績により確認調査用重機等の使用料必要額を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,610
生涯学習総合センター	使用料の見直し	実績によりコピー機の使用料必要額を見直し、予算額を縮小する。	△ 286